# 加須市魅力ある学校づくり基本方針(案)概要版

## 1 加須市が目指す学校教育の姿

#### (1)目的

本市では、市立小中学校のあり方についての具体の検討を契機に、未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境を実現するため、「将来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくり」の推進に取り組みます。

## (2) 将来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくり

魅力ある学校づくりを進めるため、本市が目指す学校教育の姿として、「こども像」と「魅力ある学校 像」を次のとおり設定します。

本市における教育の特色のもと、学校・家庭・地域・行政が目指すべき学校教育の姿を共有し、将来を見据えた魅力ある学校の実現を目指します。

#### 将来を見据えた持続可能な魅力ある学校の実現

学校・家庭・地域・行政が、目指すべき学校教育の姿を共有し、一層の強い絆で結ばれた教育を展開

<未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境の実現に向けた指針> こどもたちが学ぶ楽しさや喜びを実感し、 教職員がともに高め合い、 こどもたちの日々の成長を喜び合う学校 学びを通して豊かな社会性を育む学校 本市が目指す 「魅力ある学校像」 保護者や地域の人たちが信頼を寄せ、 安全・安心で、笑顔あふれる学校 地域から愛される、地域とともに歩む学校 多様な価値を認め合い、協力 しながら、様々な課題を解決 夢や希望を持ち、目標に 向かって、はつらつと学び、 思いやりややさしさを持ち、 本市が目指す 家族や友達、地域との絆を 「こども像」 し、たくましく生きるこども 大切にするこども 主体的に行動するこども

本市における 教育の特色 学びの場を学校だけでなく地域に広げた「地域密着型教育」 学びへの連続性を大切にした「保・幼・小中一貫教育」

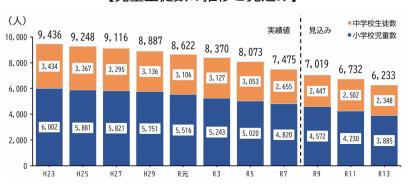
## 2 加須市の現状と見込み(学校ごとの詳細は裏面参照)

児童生徒数は、平成23年以降、減少傾向 が続いています。

児童生徒は、多様な人間関係の中で社会性を育んでいくことから、児童生徒数の減少による学校の小規模化は、こどもの豊かな社会性を育む視点からも憂慮すべき状況です。

また、保護者や地域の方から今後の小中 学校のあり方について懸念する声が寄せら れるようになりました。

#### 【児童生徒数の推移と見込み】



## 3 学校規模・学校配置の方針

将来を見据えた持続可能な魅力ある学校を実現するため、未来を担うこどもたちにとってよりよい教育 環境となる学校規模・学校配置の方針を次のとおり定めます。

#### (1) 学校規模の方針

「望ましい学級数の目安」を目指しつつも、「少なくとも必要な学級数の目安」を重視し、今後20年を 見据えた持続可能な学校規模を検討します。

望ましい学級数の目安	小学校12学級以上 中学校9学級以上
少なくとも必要な学級数の目安	小学校6学級以上 中学校3学級以上

## (2) 学校配置の方針

「学校規模の方針」とともに、「学校配置の考え方」に基づき、今後20年を見据えた持続可能な学校配置を勘案し、統廃合等の学校再編に向けた方策を検討します。

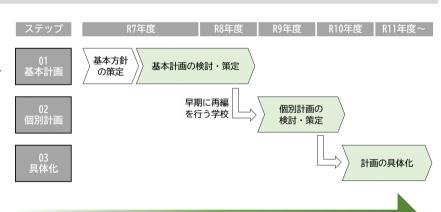
#### 学校配置の考え方

- 国が示す通学距離、通学時間に関する考え方も参考とする。
- 必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つとともに、学校施設の老朽化等への対応状況や地域特性などを勘案する。
- 保護者や地域住民との十分な合意形成を基本に、対象となる市立小中学校のうち小規模化が顕著な小学校を最優先に順次進める。

## 4 今後の進め方

基本方針の策定後は、「基本計画の策定」「個別計画の策定」「計画の具体化」という3つのステップを踏んで進めていきます。

各ステップでは、保護者や地域住民の 皆様との十分な合意形成を基本に、意見 交換会やパブリックコメントなどを通じ て、皆様の声を丁寧に伺い、計画に反映 していきます。



将来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくりの推進 未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境の実現

基本方針の本編や児童生徒へのアンケート調査の結果は、市ホームページで公開しています。

加須市魅力ある学校づくり基本方針(案)



加須市魅力ある学校づくりに関する 児童生徒アンケート調査結果



■ 令和7年6月24日時点

■ 問い合わせ先 加須市教育委員会 生涯学習部教育総務課 魅力ある学校づくり推進室(加須市役所 3階) TEL:0480-62-1111

E-mail: miryoku-gakko@city.kazo.lg.jp

## 【学校別の学級数及び1学級当たりの児童生徒数の現状と見込み】

令和7年度(現状)と令和13年度(見込み)の学校別学級数と1学級当たりの児童生徒数を規模の特徴ごとに図で示したものです。 令和7年度から令和13年度にかけて、ほぼ全ての小学校において学級数が減少する見込みです。中でも、複式学級が存在する学校数は、令和7年度の1校から令和13年度には6校と大幅に増加しています。

小学校	過小規模	·····································	小規模校					中規模校						大規模校			
中学校		過小規模校	小規				現模校 中規模校										
<ul><li>令和7年度(令和7年4月1日至</li></ul>	1   2   3     複式学級が存在   複式学級が存在	する規模	世界 (13) 原道 (14) 北川辺東 (23) 北川辺西 (23) 鴻玄 (13) 種足 (19) 田ケ谷 (20) 加須南 (24) 志多見 (14) (27) 横遣川 (13) (26) 6 7 全学年で、または2学年 単学級となる計算を表す。または2学年 世学級となる計算を表す。または2学年 世界 (13) は、13) は	(24) 花崎北 (26) 8 以下の学年で 規模 以下の学年で		10		礼羽 (23) 加須 (29) 12	元和 (24) 13		X特別支援	6 17	常学級のみは、5学級以内捨五入して	以下の小学校	水深 (30) 20	21	
学級数 中学校	1	2	3 4 加須北	5	6 北川辺 (34)	7	8	9 加須平成 (32)	10 加須西 (31)	11 騎西 (35)	12 1 1 加須東	3   14	15 昭和	16	17	18	
令和 13 年度 (令和 7 年 4 月 1 日現在、住民登録 を基に、転出入など社会増減を見	大利根東 (25) 北川辺東 (16) 北川辺西 (14) 田ケ谷 (11) 騎西 (27) 加須南 (18) 志多見 (14)			花崎北 (22) 加須	礼羽	元和 (29) 大桑 (30)		三 <u>俣</u> (2 6)	<ul><li>※□内の上</li><li>※特別支援</li><li>※令和134</li><li>年4月1</li><li>生徒数の</li><li>※1学級当</li></ul>	段が学校名、学級を除く通常 学級を除く通常 手度の学級数及 日現在の各校の 割合を基に算り たりの児童数り 割った数値を見	下段は1学紹のみ 対 1学級当 が1学級当 の児童生徒数 出したもの は、5学級	吸当たりのり たりの児童 牧に対する特 以下の小学材 に算出	記童生徒数 生徒数は、 特別支援学績	令和7 めの児童			
学級数	大越 (4) 1 2 3	(6) (11)	(16) (25) 6 7	8	9	10	(23)	(30)	13	(26) 14	15 1	6 17	18	(28)	20	21	
子 (数	複式学級が存在する		全学年で、または2学年単学級となる。	_	,			1 2	13	14		<u> </u>		1 19	20	۷ ۱	
規模の特徴	複式子級が存在す		全学年で、または2学年	37401	3学年以上の学年で2学級となる規模				全学年7	全学年で2学級以上となる規模 全学年で2学級以上となる規模 全学年で2学級以上となる規模 全学年で2学級以上となる規模							
	有	2 2	単学級となる   3 4	<del>見模</del> 5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 14	15	16	17	18	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>'</u>		加須北	北川辺			加須平成	加須西	騎西		加須東昭	和	1 13	1 ' 0	. ,	, 0	
中于区			(20)	(26)			(32)	(29) 大利根 (39)	(33)		(32) (3	5)					